

「重大な虐待ゼロ」に向けた地域・医療連携ネットワーク事業

予算額:41千円

1.目的

医療機関との連携のもと、「住吉区版重大な虐待ゼロに向けた地域・医療連携ネットワーク」を構築し、虐待による死亡事案ゼロの状態を維持する。

2.内容

- 乳幼児健診時、2歳6か月児のポピュレーションアプローチ時に個々のこどものかかりつけ医の情報を把握する
- 区医師会等の協力を得て、年1回程度、区内小児科医療機関等に地区担当保健師が訪問するとともに、交流会を開催し、連携体制を推進する

3.令和4年度事業指標・実績

指標:かかりつけ医が気になるケースについて、医療機関の見守りと区役所の連携が行われている割合
100%

実績:かかりつけ医が気になるケースについて、医療機関の見守りと区役所の連携が行われている割合
100%

実績内容

各地域担当保健師が区内23箇所の小児科を訪問等し、住吉区版重大な虐待ゼロに向けた手引き(大阪府「子ども虐待予防早期発見初期対応の視点」の区版)を配布のうえ、その内容、連絡先や担当者について説明。また、各小児科から研修内容の希望を聞き取り、その際に交流会の開催要望を受け、研修会と交流会を開催した。

成果と課題

各地域担当保健師が区内 23 箇所の小児科を訪問等することで、顔のみえる関係づくりの一助になり連携強化につながった。

4.令和5年度事業内容

指標:区内の小児科医療機関へのアンケートにおいて、本事業が児童虐待の早期発見・対応に繋がっていると回答した割合:80%以上

引き続き、地域担当保健師が区内小児科に訪問等を実施しの顔の見える関係づくりを継続し、年1回の交流会を開催することで更なる連携強化を目指す。

現在の状況(6月末現在)

- 地域担当保健師が、区内小児科に訪問について準備中
- 区内小児科と区役所の交流会の開催に向けて準備中